



果樹のカメムシ類 (チャバネアオカメムシ) の飛来にご注意ください!

果樹カメムシ(チャバネアオカメムシ)の越冬成虫量が、
過去10年で2番目に多く予想されています。
(「あいち病害虫情報(平成26年4月16日付け)」より)



- ☆カメムシ類は、20℃以上で風が弱い夜に行動が活発になります。
- ☆越冬成虫量が多い年は飛来が長期間続くので、飛来を確認したら、下記農薬等で防除を心がけてください。

☆スタークル顆粒水溶剤のカメムシ類への使い方 平成26年4月9日現在

作物名	希釈倍数	収穫前日数	本剤の使用回数	ジネフランを含む農薬の総使用回数	系統
小粒核果類※	2000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内	ネオニコチノイド
もも					
なし					
ぶどう					
かき					

※「小粒核果類」は「うめ」「もも」「あんず」の中グループ名です。

農薬の散布にあたっては、ラベルで内容を確認しましょう。
他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。